

## 生徒の皆さんへ「創立100周年を迎えて」

奈良朱雀・奈良商工高等学校は、今年で創立100周年を迎えます。本来であれば、11月1日(月)に、なら100年会館で記念式典を行う予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染防止のことから、記念式典は次年度に延期することとなりました。

顧みますと、本校の前身である、奈良県立商業学校は、大正10年(1921)に奈良県唯一の商業学校として、奈良市船橋町の地に設立されました。その後、世界恐慌・世界大戦といった歴史のうねりの中で、商業学校の工業科転換が勸奨され工業学校を併置した時期もありました。戦後になり、学制改革が行われ、総合制・男女共学が始まり、職業教育の多様化が導入されました。

この間

大正10年	奈良県立商業学校開校
昭和19年	奈良県立奈良商業学校と奈良県立奈良工業学校の併置開校
昭和21年	奈良県立奈良商工学校開校
昭和23年4月	奈良県立奈良商工高等学校に改名
9月	総合制奈良県立奈良高等学校開校
昭和27年	奈良県立奈良商工高等学校開校
昭和37年	奈良市秋篠町に奈良県立奈良工業高等学校開校
その後	奈良商工高等学校では工業科の募集停止
昭和42年	奈良県立奈良商業高等学校設置
昭和43年	奈良市柏木町に校舎移転
平成19年	奈良県立奈良商業高等学校と奈良県立奈良工業高等学校両校の統合校として奈良県立奈良朱雀高等学校を設置
令和 3年	奈良県立奈良商工高等学校開校

と変遷を経てきました。

大正・昭和・平成・令和の4つの時代にわたり、各界・各方面で活躍される多くの先輩方を輩出しています。

在校生の皆さん、皆さんには友人との絆を深め、ともに高い目標を掲げ、それぞれが自らに厳しさを課し、努力を積み重ねる中で、有形無形の一生の宝を、この高校生活の中で獲得してもらいたいと思っています。

今回の100周年における、「築け 新たな伝統 輝く未来へ」のテーマのごとく、これからの本校2世紀へ向けて伝統と校風を受け継ぎ、未来を担う世代へと成長してほしいと願っています。

校長より